

「官」「民」がそれぞれの強みを活かして
地域ITに即したIT導入支援へ

マイクロソフトの「育てる、進める 中小企業のIT経営 地域活性化プログラム」活用事例
埼玉・神奈川・岡山

地域企業のIT活用推進においては、連携により強みを活かすことも有効な手段である。本コーナーではマイクロソフトの「育てる、進める 中小企業のIT経営 地域活性化プログラム」により支援を充実させている地域の動きを紹介する。

「岡山経革広場」によって情報提供の幅が広がり、同時にビジネスマッチングの機会も創出してきた。サイトの運営を通じて議論を戦わせる場を持てたことも大きい」

全国に先駆けて、マイクロソフトとの協業で「岡山経革広場」を運営する岡山。運営事務局を務める岡山県中小企業団体中央会・連携推進部部長の栢菅一久氏は、本サイトが地域サービスの充実に貢献していること力強く語る。

「経革広場」はマイクロソフトの「育てる、進める 中小企業のIT経営 地域活性化プログラム」

メニューの一つ。同プログラムは地域におけるIT活用の自立的な推進をサポートする目的で展開されており、

- ・地域ビジネスポータルサイト
- ・「地域版 経革広場」

「埼玉県」×「経革広場」 情報提供への取り組み

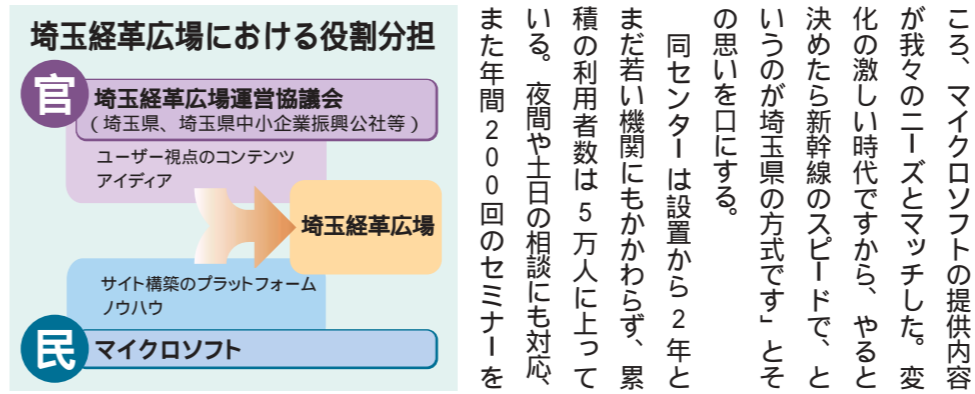
埼玉県では、Webポータルサイト「経革広場」の埼玉地域版である「埼玉経革広場」を2007年2月にスタートさせる。2006年10月から具体的な打合せを始め、そのわずか4ヶ月後

- ・セミナーメニュー「IT実践塾」
- ・IT活用の電話相談窓口
- ・「中小企業IT化支援センター」
- ・「ITベンチャー支援プログラム」

が主要メニューとなっている。岡山以外にも、本プログラムを使って地域サービスを強化する自治体・地域機関が増加中だ。その中から、埼玉県、神奈川県を取り上げ、活動内容を探ってみよう。

経革広場

にはサービスを提供しようというテンポの速い段取りだ。埼玉経革広場を企画した埼玉県創業・ベンチャー支援センターの鈴木康之副所長は、「産業に係るビジネスポータルを作りたいと考えていたと



創業・経営の情報提供サイトを
「新幹線スピード」で構築



埼玉県創業・ベンチャー支援センター副所長 鈴木康之氏

開催するなど、利用者の立場にたったサービスが支持されている。

目的が同じだから協業
運営技術とノウハウに期待

ポータルサイト構築に向けては「アイデアやコンテンツは豊富な一方、サーバーを安定的に運用する技術やノウハウがない」(鈴木氏)状況だった。Webサイトのプラットフォーム、運用技術・ノウハウがマイクロソフトから提供される「経革広場」は、お互いの強みを活かせる提案だったのである。ただ、これまでの経革広場は、

更新のしやすさやSNS、RSS機能が使えない点など課題もあった。マイクロソフトが「産業振興ならびにユーザ計画を示したことで、構想実現のめどが立ったのだという。こうした取り組みの背景には、2006年1月に埼玉県とマイクロソフトが「産業振興ならびに人材育成に関する協力の覚書」を締結したことがある。民間企業の協業には慎重な姿勢をとる地方自治体もあるが、埼玉県では、上田清司知事が「仕事編成において民間企業等と連携し、マンパワーで成果を目指す」という方針を立てており、今は役所がすべてをカバーできる時代ではないし、ましてITについてはノウハウが少ない(鈴木氏)と、抵抗もなかったそうだ。

コンテンツは空き事務所情報や取引先開拓など創業・経営に直結する内容を計画。利用者の目的別・業態別の区分から、必要な情報に素早くアクセスできる構成になるという。鈴木氏は、「埼玉経革広場は小さく始めて大きく育てる」と、利用者の声を聞きながら充実度を高めていく構えだ。

「神奈川県」×「IT実践塾」 IT活用の具体例提供

一方、「地域活性化プログラム」メニューのうち、「IT実践塾」を活用しているのが神奈川県だ。2006年12月8日には、第一回の試みとなるセミナー「中小企業経営におけるITの必要性」が財団法人神奈川中小企業センターにて開催された。

本取り組みを推進している神奈川県商工労働部産業活性化課新産業振興班の大居ゆう子主査は、「IT実践塾プログラムを採用した意図について次のように語る。

「中小企業のIT化を促進する

にあたり、単にIT導入のメリットを説くだけでなく、具体的な売上向上や経営効率化、コストダウンの例に基づきIT投資の費用対効果を示すことが必要と考えました」

こうしたコンテンツはユーザー企業のきつかけ作りに有効であるものの、事例を収集しセミナーコンテンツとしてまとめるには一定の時間や人手を要する。そこで、中小企業のIT化事例を豊富に持ち、テーマに応じた講師の紹介が可能なIT実践塾の活用に至ったのである。

IT活用推進に役立つ
「効果のわかる事例」情報を



神奈川県 商工労働部産業活性化課 新産業振興班 主幹 両角文夫氏(写真左) 主査 大居ゆう子氏

IT産業の振興では
すでに実績も

神奈川県とマイクロソフトは、すでに慶應義塾大学S・I・Vアントレプレナーラボラトリーと共に「ITベンチャー育成・支援プログラム」を実施し、「ITベンチャー企業に対する支援活動を行ってきた。さらに